

パソコン同好会

放送大学山口学習センターサークル

機関誌 No. 51

Dec. 22, '12.

文責 井手明雄

1, 第五十六回パソコン同好会

- (1) 開催日： 11月18日(日) 13:30~15:30
 - (2) 場所： 放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
 - (3) 内容： パワーポイントの利用、プレゼンテーション用のスライド表示方法を各種試み、プレゼンテーションがどのように発揮できるかを知った。具体的には、機関誌No.48で作成したスライドを使って画面の切り換え効果やアピール度を調べた。
- ② その他： 特になし

2, Q & A

Q: いくつかの画像を繋ぎ合わせるには ?

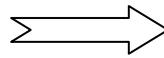


A

+



B



A繋ぎ合わせた図

- A: ① ワードでは、図を重ねることで簡単に継ぎ合わされます。
ここでは、ペイントを使います。ペイントを立ち上げ、「ファイル」タグの「プロパティ」をクリックし、完成予定の図の大きさを決め、イメージのプロパティの縦と横の幅を設定します。
- ② 図Aを開き、「ホーム」タグの「選択」をクリックして図の範囲を指定します。すぐに右クリックして「コピー」します。
 - ③ 「ファイル」タグから、新規を選択し、続いて、図Bを開き、「選択」をクリックして図Bを右の方へ移動します。続いて、右クリックして「貼り付け」します。不必要な部分だけをトリミングして除きます。上の図はマンリョウの実です。

3, 第五十七回パソコン同好会

- (1) 開催日： 12月22日(土) 12:00~15:00
- (2) 場所： 放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容： ① パワーポイントの利用、プレゼンテーション効果向上の工夫

平成24年12月22日

文責： 井手明雄

パワーポイントを使った情報提供－9

プレゼンテーション方法の工夫

1、概略

今回は、バラ科の植物は、お互いに似ている所もありますが、非なる部分もあります。なぜこれらをまとめてバラ科に分類されるのかを説明するためのプレゼンテーションをどのようにすればよりよく視聴者に理解してもらえるかを考えましょう。

スライド作成のための図や表などは、フォルダー「H24年12月例会資料」に入れておきましたので、これを使って文末のスライドを作成し、スライドの画面の切り換え、アニメーション方法を工夫してみましょう。

2、作成上のヒント スライドのデザイン

- ① パワーポイントを立ち上げ、各スライドの体裁を決めるため、「デザイン」タグをクリックし、「テーマ」から適切なものを選択します。スライドの背景の色合いは「背景のスタイル」をクリックします。
- ② 「ファイル」タグの「新規作成」を選択し、「OfficeCom テンプレート」からもデザインを選べます。本テキストに使用したスライドのデザインは、「OfficeCom テンプレート」から「PowerPoint のプレゼンテーションとスライド」から「スライドデザイン」、「自然デザインスライド」を選択し、「パステルグリーンの花模様」を選択しました。
- ③ 上記の「PowerPoint のプレゼンテーションとスライド」から「スライドの効果」から「写真と吹き出しテキストの SmartArt グラフィック」を選んだのが本テキストに使用した2, 3番目のスライドです。既に吹き出しが付いているので画像や文字を入れ替えるだけで良いです。
- ④ アニメーション効果は、スライドの項目を選択し、アニメーションの方法を「アニメーション」タグの「アニメーション」グループの中から適切な効果を選択します。項目選択の順序を間違えないようにしてください。

3、作成したスライド

スライド 1

バラ科の植物

特徴：
 花弁・萼は、5枚、雄蕊は10本ないし多数あり、雌蕊は1本から多数分立し多様。
 葉は単葉又は複葉で根元に托葉がある。

スライド 2

バラ科 子房上位

バラ亜科
 シモツケ亜科
 サクラ
 亜科

スライド 3

バラ科 子房下位

ナシ
 亜科

スライド 4

バラ亜科

- バラ、イチゴ、キイチゴ、ヤマブキなど
- 草本または低木。心皮が数個ないし多数あって離生し、**子房上位**。それぞれが果実となり、小核果（キイチゴなど）または瘦果（イチゴなど）、一部は袋果で各1個の種子を含む。また花托（イチゴなど）や萼（バラなど）が肥厚して偽果となるものもある。
- （註） 瘦果： 小形で熟しても裂開せず、一種子をもち、全体が種子のように見える。

スライド 5

バラ亜科

バラ
 ヤマブキ
 下図は八重
 キイチゴ
 イチゴ

スライド 6

シモツケ亜科

- シモツケ、ユキヤナギ、コデマリなど
- 低木。心皮は2ないし5個が離生し
- 子房上位**。果実は袋果またはさく果で種子を数個含む。
- 註 シモツケソウはバラ亜科

スライド 7

シモツケ亜科





ユキヤナギ
シモツケ
コデマリ

スライド 8

サクラ亜科

- サクラ、モモ、ウメ、スモモ、アーモンドなど、
- 木本。果樹あるいは花卉として重要な種類を含む。心皮は1個または数個で**子房上位**。
- 果実は核果で種子を1個含む。
- 註 核果・・・果実の外果皮が薄く、中果皮は多肉質で水分が多く、内果皮は硬く木質になる。

スライド 9

サクラ亜科



サクラ



スモモ



アーモンド



モモ

スライド 10

ナシ亜科

- リンゴ、ナシ、ビワ、ナナカマドなど
- 木本。心皮は2ないし5個あり、合着して1本の雌蕊になっている。**子房下位**で、果実（リンゴやナシの芯の部分）を花托（萼の根元）が包んで肥厚し偽果（ナシ状果：ふつう食べる部分）となる。

スライド 11

ナシ亜科



リンゴ



ビワ



ナシ



ナナカマド

スライド 12

花の器官作りに関わる遺伝子と形成される器官

領域	遺伝子の種類	遺伝子の名前	形成される器官
1	Aのみ	AP1, AP2	がく片
2	AとB	AP1, AP2, AP3, PI	花弁
3	BとC	AP3, PI, AG	雄蕊
4	Cのみ	AG	心皮（雌蕊）

スライド 13

スライド 14

ABCモデル

The diagram illustrates the ABC model of flower development. It shows a cross-section of a flower with four whorls: Sepals (Pt), Petals (Pi), Stamens (St), and Carpels (Ca). Below the flower, gene boxes are shown for different genotypes:

- Wild-type:** A (red), B (yellow), C (blue) in whorls 1, 2, and 3 respectively.
- A-function mutant:** LfCa (green), PiSt (yellow), St (blue) in whorls 1, 2, and 3 respectively.
- B-function mutant:** A (red), Se (green), Ca (blue) in whorls 1, 2, and 3 respectively.
- C-function mutant:** A (red), B (yellow), Se/Pt (green) in whorls 1, 2, and 3 respectively.

Small images of flowers are shown next to each genotype: wild-type (normal), A-function mutant (apetalous), B-function mutant (petaloid), and C-function mutant (staminal).

これらはどうして同じ科？

- 1, 花弁が一重と多重がある。
- おしべが花弁変化したので多重。
- 2, おしべの数に多少がある。
- おしべの形成初期で多く分裂
- 3, めしべの数に多少がある。
- めしべの形成初期で多く分裂

スライド 15

スライド 16

これらはどうして同じ科 ? 2

- 4, 子房上位と下位がある。
- 下位にあるのは、初期形成のがくや花弁の成長が早いから。
- 5, 果実に瘦果、核果がある。
- イチゴの可食部は花びらやおしべ、めしべなど支える花床が膨らんだもの表面の**ぶつぶつが実**でその中に種子がある。